

## 単元の目標

- (1) 領土と国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割があること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解することができる。
- (2) 文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したり、思考・判断したことを適切に表現することができる。
- (3) 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

## 標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 私たちの生活と国際社会との関わりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漫画「チョコレート王国」を読む。</li> <li>★ 漫画を通して、私たちと国際社会の「見方・考え方」を捉えよう。</li> <li>○ A国の子どもは、どのような人権を侵害されているかについて話し合う。</li> <li>○ B国から受けた注意を、A国は受け入れなくてもよいのかについて話し合う。</li> <li>○ B、C、D国が、A国の子どもの人権を守るためにA国へ軍隊を送り込むことには問題はないのかについて話し合う。</li> <li>○ A国とB、C、D国が、話し合いを通して価値や方針を調整していくことはできないのかについて話し合う。</li> <li>○ 単元の学習問題をつかむ。</li> <li>● 平和で持続可能な国際社会の実現のために、日本はどのような役割を果たすべきだろう。</li> </ul> <p>2 国際社会と持続可能性について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 国際社会において、持続可能性とはどのような考え方なのだろう。</li> <li>○ 身近なものがどこで生産されているかについて調べる。</li> <li>○ 「持続可能性」という考え方を知る。</li> <li>○ 身の回りにある持続可能性を意識したものや取組について話し合う。</li> <li>○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</li> <li>■ 国際社会において、国家が互いに尊重し、協力し合うために大切なものは何だろうか。</li> </ul> <p>3 国家と国際関係について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 国際社会は、どのような基本原則の上に成り立っているのだろう。</li> <li>○ 国家の成り立ちについて調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教 P. 188～189</li> <li>・ 「日本国憲法と基本的人権」の学習を振り返らせる。</li> <li>・ 個人の尊重、対立と合意、国際協調といった見方・考え方から問題を捉えさせる。</li> <li>・ 軍隊を送るという手段の是非について考えさせるとともに、戦争を回避するためにA国の子どもの人権が無視されてもよいのかについても考えさせる。</li> <li>・ 「現代社会の見方・考え方」での学習を想起させ、個人間での対立と合意の延長線上に国家間の対立と合意があることに気付かせる。それにより、見方・考え方を生かすことで国家間の対立についても合意することができるのではないかという思いをもたせる。</li> <li>【評】単元を貫く学習問題を設定し、課題に対して見通しをもつ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 教 P. 190～191</li> <li>・ 国際社会で、持続可能な社会を実現する上で不可欠な要素に着目して追究させる。 (持続可能性)</li> <li>・ 普段我々が消費しているものの多くは外国で生産されており、それらを生産するためには多くの労働者や資源が注ぎ込まれていることを捉えさせる。</li> <li>・ 前時の漫画を振り返らせることで、労働者の労働環境等についても考えさせたい。</li> <li>・ 「持続可能性」とは、将来の世代が自分たちの必要性を満たすことができるようにしながら、現在の世代の必要性も満たすことができることであることを知らせる。</li> <li>【評】持続可能な社会の実現のためには、国際協力が必要であることを調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 教 P. 192～193</li> <li>・ 国際社会での対立と合意や国際協調について、国家主権と関連付けて追究させる。 (対立と合意、国際協調)</li> <li>・ 国家の三要素を捉えさせるとともに、国旗・国歌が国際社会の中で重要なシンボルとなることに気付かせる。</li> </ul>

<p>○ 国際関係の成り立ちについて調べる。</p> <p>○ 「国際協調」という考え方を知る。</p> <p>4 日本の領土をめぐる問題について調べる。</p> <p>★日本の領土をめぐる問題には、どのようなものがあるのだろう。</p> <p>○ 日本の領域と排他的経済水域について調べる。</p> <p>○ 日本の領土をめぐる問題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尖閣諸島は、1895 年に日本政府が領土に編入後、日本の領土として扱われてきた。しかし 1970 年代、東シナ海に石油埋蔵の可能性が指摘されると、中国は突如として領有権を主張しはじめた。</li> </ul> <p>○ 日本の領土をめぐる問題について、合意に向けてどのように相手国と話し合うとよいかを話し合う。</p> <p>5 国際連合の目的と働きについて調べる。</p> <p>★国際連合は、国際社会でどのような役割を果たしているだろう。</p> <p>○ 国際連合の成立と目的について調べる。</p> <p>○ 国際連合の働きについて説明する。</p> <p>○ 国際連合総会では、なぜどの国も等しく一票をもつのかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合の四つの目的には「平和」「安全」「友好関係」「人権の保障」「国際協力」等のキーワードがいたわれており、これらを実現するためには国家間による上下関係や差別があってはならず、公平・平等・対等な関係でなければならないから。</li> </ul> <p>6 グローバル化と地域統合について調べる。</p> <p>★グローバル化のもとで進められた地域統合にはどのような利点と問題点があるのだろう。</p> <p>○ 地域統合と地域協力の動きについて調べる。</p> <p>○ グローバル化や地域統合の利点と問題点について調べる。</p> <p>7 世界のさまざまな文化や宗教について調べる。</p> <p>★現代の世界において、文化や宗教と政治はどのような関わりをもっているのだろう。</p> <p>○ 文化、宗教と政治を考えるために必要なことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的分野での学習を想起させ、現在の国際関係が成り立った経緯についてまとめさせる。</li> <li>・「アクティビティ」に取り組ませることで、国際協調が損なわれると平和が損なわれたり、人権の侵害に繋がったりするなどの悪影響が世界規模で発生する可能性があることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】国際社会での対立と合意や国際協調について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 194～197</li> <li>・領土をめぐる問題と解決のための取組について、国際協調の観点に着目して追究させる。（対立と合意）</li> <li>・資料 1 を活用し、沖ノ鳥島がもつ排他的経済水域の面積が、日本の国土面積よりも広いことを捉えさせる。</li> <li>・周辺国の行為や主張の内容を捉えさせるとともに、日本の主張との間で対立が起こっていることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】日本の領域と、それらをめぐる日本と外国の主張の対立や論点について調べ話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 198～199</li> <li>・国際連合の仕組みや活動について、国際協調に着目して追究させる。（国際協調）</li> <li>・歴史的分野での学習を想起させ、国際連合が設立した経緯を確認させる。</li> <li>・国際連合の四つの目的を捉えさせ、国際連合の働きについて説明させる。</li> <li>・国際連合の目的とも関連付けながら、さまざまな分野において活動を行っていることや、目的を達成するための専門的な機関が存在していることを捉えさせる。</li> </ul> <p>【評】国際連合総会で、どの国も等しく一票をもつ理由について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 200～201</li> <li>・地域統合の利点と問題点について、対立と合意、国際協調に着目して追究させる。（対立と合意、国際協調）</li> <li>・各地の地域統合の目的が、それぞれ異なっていることに気付かせる。</li> <li>・「公民+α」や本文の内容を活用し、利点と問題点をまとめさせる。</li> </ul> <p>【評】国際社会における地域統合の在り方について、利点と問題点を整理し比較して考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 202～203</li> <li>・宗教や文化の多様性を相互に尊重することの意味について、国際協調に着目して追究させる。（国際協調）</li> <li>・政治的、経済的な対立が生じた際に、宗教</li> </ul>
--	---

<p>○現代世界に文化、宗教が与える影響について調べる。</p> <p>○宗教や文化の多様性を相互に尊重することの意味について考える。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>8 現代の戦争と平和について考える。</p> <p>★現代の紛争には、どのようなものがあり、どのような特徴があるのだろう。</p> <p>○現代の紛争の特徴について調べる。</p> <p>○東アジアの変化と課題について調べる。</p> <p>○東アジアの安定のために、日本はどのような政策をとっていきべきかについて考え、話し合う。</p> <p>○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■国際社会の課題の解決のために、私たちはどのような取り組みができるだろう。</p> <p>9 世界の軍縮と日本の役割について調べる。</p> <p>★軍縮のために、日本はどのような役割を果たしていくことができるだろう。</p> <p>○軍縮への動きと課題について調べる。</p> <p>○軍縮に対する日本の役割について調べる。</p> <p>○核軍縮や世界平和の実現のために、日本や私たちにはどのようなことができるのかについて考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆資料館を訪れるなどして戦争についての学びを深め、戦争の悲惨さや平和の大切さを受け継いでいきたい。</li> </ul> <p>10 日本の平和主義と国際貢献について調べる。</p> <p>★日本は、世界の平和と人々の福祉のためにどのような貢献ができるだろう。</p> <p>○日本の国際貢献の様子について調べる。</p>	<p>や文化の違いが強調されることがあることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公民+α」にある事例を基に、宗教と生活との関わりや宗教観の違いによって政治的に重大な対立が生じるおそれがあることなどをまとめさせる。</li> <li>・文化の多様性に寛容になることで、宗教観や文化の違いによる対立を防ぎ、国際協調による多文化共生社会への実現へと繋がることを捉えさせる。</li> </ul> <p>【評】国際社会において、異なる価値観や多様性を尊重し合うことの意義を多面的・多角的に考察する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 204～205</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの安定について、対立と国際協調に着目して追究させる。</li> </ul> <p>(対立、国際協調)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的分野での学習を想起させ、過去の戦争と現代の紛争との違いに着目させる。</li> <li>・日本を取り巻く東アジアにも課題が山積しており、決して紛争は他人事ではないということに気付かせることで、自分事として捉えさせる。</li> <li>・「公民+α」に取り組ませることで、具体的な事例を基に考えさせる。</li> <li>・「公民+α」の内容も踏まえた上で、世界平和について対立と協調の観点から考えを話し合わせる。</li> </ul> <p>【評】冷戦終結後の世界における諸問題を通して、現代の紛争の特徴を調べ話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 206～207</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核軍縮の実現はなぜ難しいのかについて、対立と合意や協調に着目して追究させる。</li> </ul> <p>(対立と合意、国際協調)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦を経て世界は軍縮の動きを進めていったが、現在では再び軍拡の動きを見せている国や地域があることに気付かせる。</li> <li>・「世界で唯一の被爆国」である日本の使命や国際社会に対して求められる役割について捉えさせる。</li> <li>・憲法の平和主義を大切にすることや、戦争と平和について学び、平和の大切さを伝えていくことなど、具体的な内容で考えさせる。その際、国際協調の視点を大切にさせたい。</li> </ul> <p>【評】国際社会が核軍縮に取り組んできた過程と、これからの対応について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 208～209</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の国際協力はどうあるべきか、国際協調に着目して追究させる。(国際協調)</li> <li>・日本はODAによる資金・技術面での貢献だけでなく、PKOによる人的支援や国際</li> </ul>
--	---

<p>○ 世界紛争と日本の役割の拡大について調べる。</p> <p>○ 人間の安全保障を確立させるための取組について知る。</p> <p>11 発展途上国の現状と多様化する世界の様子について調べる。 ★世界にはどのような経済格差や貧困の問題があるのだろうか。</p> <p>○ 世界人口の推移について調べる。</p> <p>○ 南北問題と南南問題について調べる。</p> <p>○ 南北間の格差をなくし、公正な国際社会を実現するためにどのような取組ができるかについて考え、話し合う。</p> <p>12 限りある資源とエネルギーについて調べる。 ★資源やエネルギー問題の解決のためには、どのような取組が必要だろう。</p> <p>○ 増え続ける資源、エネルギー消費について調べる。</p> <p>○ 新しいエネルギーの開発について考える。</p> <p>○ 日本のエネルギー問題について考える。</p> <p>13 地球規模の環境問題と国際協力について考える。 ★地球規模の環境問題の解決のためには、どのような取組が必要だろう。</p> <p>○ 地球規模の環境問題について調べる。</p>	<p>平和への貢献など、幅広く世界の人々のための取組を行っていることを捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティビティ」に取り組ませることで、ただ単に支援しているわけではなく、その国がどの程度の支援を必要としているかを見極め、その国に応じた支援を行っていることに気付かせる。</li> <li>・国際協調によって平和で安定した世界をつくるのが、日本の平和や発展とも密接につながっていることを知らせる。</li> </ul> <p>【評】人間の安全を確立するために日本が果たすべき責任について、自分の考えを表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 210～211</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北間の格差をなくすための取組を、公正や国際協調に着目して追究させる。 (公正、国際協調)</li> <li>・資料 3～4 を関連付けさせることで、今後人口が急増していく地域では、現在も飢餓率が高いことから、さらに食料不足が進むであろうことに気付かせる。</li> <li>・世界には経済格差が存在していることや、格差解消のために日本が国際協力を行っていることを捉えさせる。</li> <li>・国単位での経済支援等はもちろんのこと、JICA の活動を紹介するなどして、将来的には個人単位でも発展国の教育活動等に協力できることに気付かせ、それらの活動に取り組もうとする意欲を養いたい。</li> </ul> <p>【評】世界の人口の増大とそれに伴う国際的な問題の増加について考え話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 212～213</li> <li>・エネルギー構成の在り方を、効率と公正、持続可能性に着目して追究させる。 (効率と公正、持続可能性)</li> <li>・資料 6～7 を活用し、先進国は化石燃料によるエネルギー生産に頼っていることを理解させる。</li> <li>・持続可能性に着目し、限りある資源はいつか利用できなくなってしまうことに気付かせる。</li> <li>・「アクティビティ」に取り組ませることで、効率と公正と持続可能性の観点から日本のエネルギー問題について考えさせる。</li> </ul> <p>【評】化石燃料、原子力、再生可能エネルギーを用いた発電方法を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教 P. 214～215</li> <li>・地球規模の環境問題の解決に向けた取組を、対立と合意や国際協調に着目して追究させる。 (対立と合意、国際協調)</li> <li>・地理的分野での学習を想起させ、さまざまな環境問題が、国境を越えて地球規模の問</li> </ul>
---	---

<p>           ○地球規模の環境問題に対する取組について調べる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化を防ぐための話し合いが何度も行われたが先進国と発展途上国との間で意見が対立し、なかなか実効性のある取組ができずにいた。しかし、2015 年にパリ協定が採択され、先進国、発展途上国を問わず、全ての国が温室効果ガスの削減目標を作成し、国内対策をとることが義務付けられたことで少しずつ温室効果ガス削減に向けて動き始めている。</li> </ul>           ○地球規模の環境問題を解決するためには、どのようなことが必要かについて話し合う。         </p> <p>14 持続可能な社会をつくるための取組について調べる。</p> <p>★持続可能な社会を実現するためには、どのような取組が必要なのだろう。</p> <p>○SDG s について知る。</p> <p>○国際社会に関わる課題について、日本の社会はどのように取り組んでいるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は「12：つくる責任つかう責任」の達成率が特に低いので、電子機器を大事に使い、買い替えの頻度を少なくしたい。また、食事の残菜を減らすことで、「つかう責任」を果たすとともに、「14：海の豊かさを守ろう」などの項目にも少しでも協力できるようにしたい。</li> </ul> <p>15 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>★単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。</p> <p>○語句の意味を確認する。</p> <p>○単元の学習問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>○グループで意見交換をする。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>           題へと移り変わっていることに気付かせる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティビティ」に取り組ませることで、国際協調を図りながら環境問題解決へ向けた取組を行っていることだけでなく、先進国と発展途上国との間に対立が生じていたことも捉えさせる。</li> </ul> <b>【評】</b>地球規模の環境問題に対する取組について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。         </p> <p>           ・教 P. 216～217           <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現について、SDG s と持続可能性に着目して追究させる。 (持続可能性)</li> <li>・SDG s とは、2015 年から 2030 年までの 15 年間で、持続可能でよりよい世界を目指すために採択された、17 のゴールと 169 のターゲットに整理された国際目標のことであることを知らせる。</li> <li>・国として何ができるかだけでなく、個人としてどのような取組が可能かを考えさせることで、自分自身も持続可能な社会をつくる一員であることを自覚させ、今後の社会に主体的に関わろうとする意欲を養いたい。</li> </ul> <b>【評】</b>SDG s を達成するために何ができるのかについて考え、話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。           ・教 P. 220～221           <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の知識について確認させ、整理させる。</li> <li>・ウェビングを活用して、考えを整理させる。</li> <li>・級友の意見を参考に、自分の考えを見直すことで、考えを再構築させる。</li> </ul> <b>【評】</b>単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。         </p>
---	---

【 備 考 】